

健康で、安全に働くために。

労災

ビルメン業界の労働災害発生状況について

清掃スタッフ・管理員の皆さま、日々の業務、大変にご苦労様です。ありがとうございます。

さて先日、厚生労働省より労働災害発生状況が発表されました。業種別のデータを見ると、ビルメンテナンス業界における労災発生状況は下記のような結果でした。

このデータの分析によりますと、ビルメンテナ

ンス業界の労働災害では、60歳以上の高齢者が最も多く、事故要因としては「転倒」が最も多いことが分かります。

ドアは急に開くもの!!

また、転倒のほか、ドア（扉）に挟まれる、ぶつかるといった事故もかなり起きています。

「ドアは急に開くもの！」

「ドアの向こうには必ず人がいる！」

という意識を常に持つて、ドア付近に立つ時、ドアを開ける時には必ず「注意・確認・一呼吸

すること」を忘れずにお願いいたします。

そして、作業前には身体をほぐし、作業中は「あせらず」「あわてず」「無理をせず」

気持ちと時間にゆとりをもつて取り組んでください。慣れた作業でもけっして油断せずに落ち着いて行きましょう。

軽い打撲で骨折、怖い骨粗しよう症



女性は40歳を過ぎたら骨強度の定期検診を

早期発見のためには、40歳から5歳節目

が受診対象となる定期健診（節目検診）など

を受けるのが良いでしょう。

保健所など地方自治体が行うものでは、

1000円程度（自治体によつては無料）

（男性は70歳以降に受診すればよいとされています）

骨を強くするには、一般的な生活習慣病

対策に加え、カルシウム、ビタミンDやK

の豊富な食事、適度な運動が良いそうです。

お酒やコーヒーの飲み過ぎ、喫煙には十

分に気をけて。

女性は50歳くらいから骨量が低下し始め、閉経

後はさらにその傾向が大きくなります。

事故防止に加え、万が一事故が起きてしまった時に、被害を重大化させないことも大切です。注意したい疾病の一つに「骨粗しよう症」があります。骨の量が減ることで骨の強度が低下し、もろくなる病気で、骨粗しよう症になるとちょっとした打撲でも骨折しやすくなります。歳を重ねると誰しも骨密度は徐々に減ってきます。しかし、骨粗しよう症はその様な「老化現象」ではありません。「疾病」であり治療が必要です。女性は50歳くらいから骨量が低下し始め、閉経

後はさらにその傾向が大きくなります。

- 骨の健康リスクチェック
3つ以上あてはまつたら要注意！
- 牛乳、乳製品をあまり取らない
 - 小魚、豆腐をあまり取らない
 - たばこをよく吸う
 - 体を動かすことが少ない
 - 最近、背が縮んだような気がする
 - 体格はどちらかと言えば細身だ
 - 閉経を迎えた（女性）



Kさん 母の日にお嫁さんから貰ったカーネーションと、義弟からのクレマチスの鉢、それと私が買ってきたミニトマトの苗。管理が難しいのですが、土を触ったり花を眺めたり、無心になれるひと時が楽しみな趣味になっています。

小西 無心になれるひと時、とても大切な時間ですね！

最後に、趣味を教えてください。

Kさん 本日は、ご協力ありがとうございました。

今月は、千代田区のショールーム＆オフィスビルの日常清掃をされておりますKさんにお話を伺いました。（インタビュー..小西）

現場の声

<4>

